

ポーランド政治クロノロジー(2011年3月)

月	内政	外交
3月	<p>1日 内務行政省下の財産委員会(共産主義時代の教会所有の財産返還に関する問題の処理)閉会。</p> <p>3日 コモロフスキ大統領,各政党党首と議会選挙の日程につき協議。カチンスキ「法と正義」(PiS)党首は欠席。</p> <p>4日 PiS,サヴィツキ農業・農村開発大臣に対する不信任決議案提出。</p> <p>4日 トゥスク首相,国家科学センター開設式出席(於:クラクフ)。</p> <p>9日 トゥスク首相,年金改革政府案(民間年金基金に供給される年金保険料を対給与比7.3%から同2.3%に削減,削減分5%を社会保険局にふりわけるもの)を了承。</p> <p>10日 公安庁,年次報告書を発表。同報告書においては,在ポーランド外交官の約300名が海外情報諜報員である旨言及。</p> <p>11日 コモロフスキ大統領,年金改革政府案に関して関係者と協議。協議の冒頭,コモロフスキ大統領は日本で起こった地震に対する哀悼の意を表明。</p> <p>11日 コモロフスキ大統領は天皇陛下宛に,トゥスク首相は,菅総理宛に,シコルスキ外相は,松本外相宛にそれぞれ震災者に対する御見舞いのメッセージを发出。</p> <p>14日 ヤチェック・チャイカ副法相辞任。</p> <p>16日 下院,東北地方太平洋沖地震に関する日本国民との連帯に関する決議を全会一致で採択。</p> <p>16日 PiS,シコルスキ外相の方針演説を批判し,トゥスク政権の外交は失敗と評。</p> <p>16日 憲法裁判所,1981年12月の戒厳令を憲法違反と判決。</p> <p>17日 コモロフスキ大統領,トゥスク首相,シコルスキ外相,在ポーランド日本大使館にて甲問記帳。</p>	<p>1日 トゥスク首相,ファン・ロンパイ欧州理事会議長と電話会談。</p> <p>3日 訪米中のシコルスキ外相,クリントン米国務長官及びポネマン米エネルギー省副長官と会談。</p> <p>3日 ドヴギェレヴィチ欧州担当閣外大臣,ヴィシェグラード外相会合に出席(於:ブラチスラヴァ)。</p> <p>3日 バルテルス・デンマーク参謀総長,ポーランド訪問(-4日)。</p> <p>4日 下院,米MDシステムのポーランド配備に関する協定の修正議定書を大統領が批准することを認める法案を可決。</p> <p>7日 クリフ国防相,EU議長国就任時の安全保障政策における優先事項を発表。</p> <p>9日 コモロフスキ大統領,トゥスク首相,クリフ国防相,リビア情勢に対する対応について協議。</p> <p>10日 トゥスク首相他5閣僚,ポーランド・スペイン政府間協議のため,スペイン訪問。</p> <p>10日 コパチ保健相,非公式ヴィシェグラード保健相会合に出席(於:ブラチスラバ)。</p> <p>10日 クリフ国防相,NATO非公式国防相会合に参加(-11日,於:ブリュセル)。</p> <p>11日 トゥスク首相,特別欧州理事会に出席(於:ブリュッセル)。</p> <p>11日 シコルスキ外相,非公式EU外相会合に出席(-12日,於:ゲデルレー)。</p> <p>13日 ベピッチ・クロアチア国会議長,ポーランド訪問(-14日,於:グダンスク,ワルシャワ)。</p> <p>14日 ザトレルス・ラトビア大統領,ポーランド訪問(-15日)。</p> <p>15日 ファン・ロンパイ欧州理事会議長,ポーランド訪問。</p> <p>15日 閣議にて,EU議長国下での優先課題を承認。</p> <p>15日 政府,アフガニスタン派遣部隊の派遣期間延長に関する動議を大統領に提出。</p> <p>16日 シコルスキ外相,2011年の外交政策の優先課題に関する演説(於:下院)。</p>

<p>17 日 下院前において、契約労働の導入に関する政府案に反対する看護師団体による大規模抗議行動。</p> <p>18 日 ロストコフスカ「ポーランドが最も重要」(PJN)代表は、ピエラン欧州議員が同団体から離脱した旨発表。</p> <p>18 日 スヘティナ下院議長、ボルセヴィチ上院議長、在ポーランド日本大使館で弔問記帳。</p> <p>21 日 PJN、政党として正式に登録。</p> <p>24 日 国家安全保障会議でエネルギー安全保障及び原子力発電について協議。</p> <p>25 日 下院、年金改革法案を採択(賛成 237 票、反対 154 票)。</p> <p>25 日 下院、サヴィツキ農相の不信任案を否決(賛成 189 票、反対 242 票)。</p> <p>25 日 下院にて 9 日間の座り込み抗議及びハンガーストライキを行っていた看護師団体、アンナ・コモロフスカ大統領夫人に大統領宛書簡を手交し、抗議活動を終了。</p> <p>29 日 市民プラットフォーム(PO)オポーレ支部、ベングジン PO 議員の同性愛者差別発言を受け、同議員を離党処分する決定を下す。</p> <p>29 日 ステンピエン前憲法裁判所長官、大統領に年金改正法案に署名しないよう要請。</p> <p>30 日 年金改正法案、上院通過。クリモヴィチ PO 上院議員、同法案に抗議して PO 脱退を表明。</p> <p>31 日 SLD、公的債務増大、物価上昇を理由にロストフスキ財務相不信任決議案を提出。</p> <p>31 日 PiS、グランド国有財産相不信任決議案を提出する旨発表。</p>	<p>16 日 アイゼンシュタット米国国務長官特別顧問(ホロコースト問題担当)、ポーランドがユダヤ人財産返還法の法制化プロセスを中断したことに、失望を表明。</p> <p>17 日 ラスムセン NATO 事務総長、第 4 回欧州大西洋安全保障フォーラムに参加(於:ワルシャワ)。</p> <p>18 日 トゥスク首相、ポーランドはリビアにおける軍事行動に参加しない旨発表。</p> <p>18 日 トゥスク首相を含む EU 9 か国の大統領・首相、欧州理事会議長及び欧州委員会委員長宛に、EU の財政改革等を訴える共同書簡を送付。</p> <p>19 日 トゥスク首相、リビア情勢緊急首脳会合に出席(於:パリ)。</p> <p>19 日 シコルスキ外相、EU 外務理事会・総務理事会に出席(於:ルクセンブルク)。</p> <p>19 日 ボルセヴィチ上院議長、ポーランド・ウクライナ・リトアニア国会議員会合に出席(於:キエフ)。</p> <p>22 日 第 1 回ポーランド・米国民主義対話開催(於:ワルシャワ)。</p> <p>22 日 シュミット・ハンガリー大統領、ポーランド訪問(-23 日、於:ワルシャワ、ポズナン)。</p> <p>23 日 外務省、リトアニア下院による教育法改正案の採択に関し、在リトアニア・ポーランド人の権利を侵害するものとする声明を発表。</p> <p>24 日 トゥスク首相、欧州理事会に出席(-25 日)。</p> <p>24 日 ローチェン・モンテネグロ外相、ポーランド訪問。</p> <p>24 日 ボルセヴィチ上院議長、訪独。</p> <p>27 日 シコルスキ外相、ブリュッセル・フォーラムに出席。</p> <p>28 日 コモロフスキ大統領、エストニア訪問(-29 日)。</p> <p>29 日 トゥスク首相、モルドバ訪問(-30 日)。</p> <p>29 日 シコルスキ外相、ロンドン国際会議出席。</p> <p>30 日 シコルスキ外相、アシュトン EU 外交・安全保障政策上級代表と会談(於:ブリュッセル)。</p> <p>30 日 外務省、リトアニア教育法改正案にグリボウスカйте大統領が署名したことに関し、抗議声明を発表。</p> <p>31 日 エッティンガー欧州委員会委員(エネルギー分野担当)、ポーランド訪問。</p>
--	---